

平成28年1月4日

社長年頭挨拶

日本生命保険相互会社
社長 筒井義信

日本生命保険相互会社（社長 筒井義信）は、年頭挨拶として、社長から全役員・職員に向け、メッセージをおくりました。社長からのメッセージの要旨は以下のとおりです。

平成28年のスタートにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

今年度から、「全員が心を一つにして、全員で前に進む」という意味を込め、「全・進」と名付けた新3カ年経営計画がスタートしました。「中長期的な成長基盤の構築と揺るぎない国内No.1プレゼンスの確立」を目標に、全職員が懸命に取り組んだ結果、上半期決算では増収増益の好決算を確保することができました。とりわけ、営業職員を中心とする、新商品「5つ星」の販売が実を結び、上半期の新契約保障額は大幅に進展しました。

また、昨年、これまで以上にグループ戦略を進めた1年でした。

多様化するお客様ニーズへの対応として、店舗型乗合代理店のライフサロン社を子会社化し、ニトリ社、NTTドコモ社と提携しました。更に、大手代理店であるライフプラザ・パートナーズ社を子会社化し、お客様との接点拡大に取り組みました。

加えて、海外保険事業・アセットマネジメント事業を強化しました。インドのリライアンスグループへの出資比率引上げ、豪州MLCに対する海外初のマジョリティ出資に合意し、収益ウイングの拡大を進めました。

更に国内では、三井生命保険との経営統合に合意しました。両社が切磋琢磨し、中核である営業職員チャンネルを軸に、幅広い領域で相互にメリットを生み出し、グループ全体の価値を高めてまいります。

今後も本社は、永きにわたりお客様との信頼の絆を積み重ねてきた、営業職員チャンネルを更に盤石のものとしつつ、グループ事業の強化というテーマに着実に取り組んでまいります。

そして、この3カ年経営計画「全・進」と、その先、未来の確固たる経営基盤を築くためには、皆さん自身がいかに逞しく成長できるかと同時に、人材を宝としての「人財」にいかに育てあげるかが重要になります。

昨年、当社野球部は、史上3チーム目の「都市対抗野球」と「日本選手権」の2冠を達成しましたが、優勝という高い目標に向けて、一戦ごとに成長する姿と驚異的な粘りは、我々にかけてがえのない学びを与えてくれたと思います。

皆さんも、一人ひとりが自らの目標に拘り、挑戦し続け、多くのお客様や仲間と出会うことで、自分自身を磨いてください。このような前向きな姿勢が、10年後、20年後、更にその先の当社の発展の礎になると確信しています。

この平成28年も全員がまさに「全・進」することで、お客様、日本生命、皆さんにとって、輝かしい1年にしてまいりましょう。

以上